



地区目標 ロータリーに夢をもって行動しましょう!!

クラブテーマ 想像から行動へ～優しさ溢れる出会い (DEI) のクラブ～

- ◆点鐘：市村 清勝 会長 ◆ロータリーソング：奉仕の理想  
◆司会：遠藤 直樹 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル

第2956回例会

令和4年9月26日(月)

## 会長あいさつ

市村 清勝 会長



皆さん、こんにちは。こうやって顔を合わせるのは大変うれしく感じているところであります。まずは、先ほど黙祷いただきましたけれども、酒井先輩、突然の訃報に本当に驚きました。末期の肝硬変と知りながら、命を懸けて酒を愛した方なんだなど。その勇氣と

素敵な笑顔に敬意を表したいと思ひます。ご冥福を心からお祈りします。

今日は文化財改修の魅力ということで話をしたいと思ひます。山形で唯一の国宝建築物であります、羽黒山の五重塔。



西暦930年頃、平将門が建立したといわれています。すごくかっこいいんです。それも下から見上げた時にです。軒がかなり沿っているのです。軒の先は上に跳ね上がっていて逆勾配になっています。だから軒先がやられて、20年に1回改修工事をします。屋根の上のところにあるやつ、相輪といひます。相輪の上のほうに玉ねぎを逆さま

にしたような宝珠というものが乗るのですけれども、その下の部分、これは慶長13年1608年、最上義光が改修工を行なったとされています。

最近もらった仕事では、鳥海月山両所宮随神門の改修工事です。県指定の文化財になっています。基本的に小屋組みと屋根を葺き替える工事です。今の形を変えないというのが文化財の基本的な改修の仕方ですけれども、屋根の形というのは歴史的な建築物の命になっていますので、だから内緒で少しでも形と屋根の葺き方を変えています。

最近やったところでは、この銀山温泉の古勢起屋さんというのを改修させてもらいました。木造3階建ての旅館であります。これを鉄筋コンクリートの6階建てにするという計画があったのですが、私は在来工法木造の3階建ての旅館はもう建たないので、銀山温泉の景観のため、延いては古勢起屋さんのためにそのまま改修をしたいというふうな話を提案させていただきました。

中は柱が125ミリ前のめりになっていて、川側に傾いていて、筋交いを入れて何とか倒壊を食い止めていたという状態でした。今にも倒れそうな状況だったのですが、木造はなんとかかなという変な確信がありました。問題は基礎なんです。昔はドンツキの石に柱立てをしていたのですが、それを鉄筋コンクリートの土間基礎にして、腐った柱と土台を交換をしました。内部はほとんど新しく、でも柱と梁は古いままです。古いのと新しいのといひろいろです。今、国指定の登録有形文化財として申請中あります。この会長さんは「いつもこちら側から反対側の能登屋さんの写真を撮る人ばかりでしたけれども、今は能登屋さん側からうちの写真を撮ってもらっています」というふうに変な喜びがありました。お泊りになりたいという方がいらっしやいましたら、私のほうまでご連絡をいただければ、安くはならないかもしれませんが、少しでも、少しでもサービスが良くなると思ひます。よろしくお願ひいたします。



## 幹事報告

安部 弘行 幹事

- クリエイイト礼文の大場社長さんの入会が理事会を通して承認されましたので次週の例会でご紹介いたします。
- 市村会長にポール・ハリス・フェロー1回目のバッジが届いております。長澤エレクトから贈呈お願ひします。
- 10月8日の蔵王トドマツ変更例会ですが、高見屋さんからワゴン車を1台お願ひして、山形市役所の南側に車を止める予定ですので、利用される方はそちらの方に移動をお願ひいたします。
- 昨日葬儀がございました酒井さんの御香典であります。水曜日まで事務局で受付しておりますので、まだの方はお届けていただければと思ひます。
- 10月3日ですが、ガバナー公式訪問例会であります。全員のご出席をよろしくお願ひします。なお、例会後に理事会を開きますので、理事の方は残っていただきますようよろしくお願ひします。

## 委員会報告

### 職業交流委員会

9月23日、球風会を開催しました。多数の皆さまからのご参加をいただきまして、誠にありがとうございました。コースコンディションのほうはまずまずだったので、皆さんのコンディションがいまいちだったようでしたので、10月2日の7ロータリーのときはぜひ実力を発揮していただけるようによろしくお願いたします。

その7ロータリーのゴルフコンペですが、インターネットからの参加で1名の方、名前を入れないままに送信していただいたようで、どなたか分からない方がいらっしゃいます。7ロータリークラブに参加予定の方のお名前をお呼びさせていただきますので、もし漏れている方がいらっしゃいましたら、ご返事のほど、お願いたします。



9月23日金曜日、天童カントリークラブにて球風会が開催されました。雨予報でしたが、大降りになることもなく、比較的コンディションは良く、皆さま楽しんでいました。

優勝：庄司時雄さん  
準優勝：八鞆建三さん  
ベストグロ：佐藤充昭さん



## ニコニコBOX

〈9月26日〉

**市村清勝会長／ようこそ西谷さん**

今日このタイミングで西谷さんから西ロータリーで講演いただけるとは思っていませんでした。とても楽しみです。

**安部弘行さん／職業交流委員会の皆さま、お疲れさまでした**

9月23日、球風会表彰式、無事開催することができました。準備にあたられた職業交流委員会高嶋委員長はじめメンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。

**西谷真一さん／感謝いたします**

本日、当社の西谷友里に卓話の機会をお与えいただき誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願申し上げます。

**堀田稔さん／防災にがんばろう**

西谷さんの防災の取り組みに敬意を表し、ニコニコします。

**角田健さん／卓話ありがとうございます**

9月の防災月間に合わせて、西谷さんのお話を伺えて大変うれしく思います。

**戸田正宏さん／閉店セールありがとうございました**

店舗改装のための閉店セール。おかげさまでたくさんのご来客があり、盛況のうちに閉店できました。1週間後には仮店舗にて営業いたします。どうぞよろしくお願いたします。今の卓話もとても楽しみです。西谷さんのお嬢さん、どうぞよろしくお願いたします。

**富田浩志さん／サントリーホールにて**

昨日、東京赤坂のサントリーホールにて『一粒萬倍』の公演が上演されました。衣装提供として協賛いたし、多くの観客に感動を、喜びのあるイベントでした。

**五十嵐信さん／祝『ロータリーの友』掲載**

今月号に昨年度の活動を掲載してもらいました。東海林直前、浦山S.A.A.長はじめS.A.A.の仲間感謝します。なお、一番がんばってくれた酒井さんの写真があります。合掌。

**庄司時雄さん／優勝しました**

先日の球風会にて優勝いたしました。さすがにベストグロは佐五郎さんに気を使い、お譲りいたしました。ニコニコいたします。

**八鞆建三さん／初参加にて**

初参加の球風会に準優勝いたしましたことをうれしく思います。ニコニコいたします。入会したばかりですので皆さまどうぞよろしくお願いたします。

**坂部登さん／球風会に参加して、ブービー賞をいただきました。**

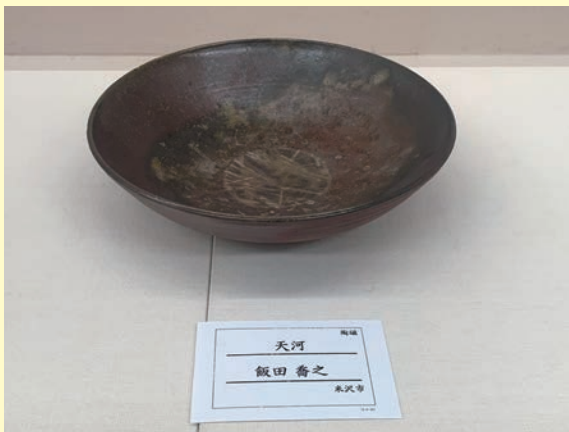
**球風会の皆さま／球風会にて**

蔵王カントリークラブ、アウト2番ホールにてワンオンしなかった方のチャリティとして、ニコニコしていただきました。参加された皆さまおつかれさまでした。

**新藤幸紀さん／酒井啓孝会員の訃報が信じられません。団塊の世代のトップランナーとして一緒に走ってきたのに残念でなりません。ご冥福をお祈りいたします。**

## 飯田喬之会員

### 山形県総合美術展 陶芸部門 入賞



## ゲスト卓話



### ENJOY BOUSAI 思いと経験を次につなげる

西谷 友里 さん

[有限会社 西谷 コンテンツ制作部 部長]

皆さま、いつも父が大変お世話になっております。西谷真一の娘の西谷友里でございます。本日は貴重な機会をいただき、本当にありがとうございます。本日のテーマになります「ENJOY BOUSAI 思いと経験を次につなげる」です。

簡単に私の自己紹介をさせていただきます。私は防災士、防災介助士、消防設備士、また一般毒物劇物取扱責任者というなかなか女性では取得しないような資格を取得しております。今は小学校の男の子、幼稚園の女の子2人を育てながら3人の母としてなんとか必死に毎日をやっております。現在はENJOY BOUSAI事業といたしまして、もともとありました防災事業をこのように楽しい、おしゃれなというようなテーマで広めていくENJOY BOUSAI事業とYBC山形放送様に育てていただいた経験を生かして、現在もメコム様と一緒にホームページや動画などの作成もしております。

では最初に、こちらにございますこれ、アルファ米というんですけれども、どんなお米なのか皆さんご存じでしょうか。答えは「炊いたごはんを急速に乾燥させたもの」です。皆さんどちらかというところ「乾燥させたもの」というお答えが多いんですけれども、これは一度ふっくらと炊き上げたごはんを急速に乾燥させたものがアルファ米となります。

また、お湯で何分、水で何分でごはんが食べあがるのでしょうか。カップラーメンと同じと思われ、3分とお答えになるんですけれども、こちらはお湯で15分、水で1時間で完成いたします。フリーズドライというお米もありますが、こちらはそのままポリポリと食べることができそうですが、どうしてもアルファ米のおいしさには少し勝てないかなというところがございますので、ぜひおいしいものを備えていただくためにもアルファ米をお勧めしています。

こちらのおにぎり、感染症の予防に役立つと言われております。こちらのおにぎりの包装紙をペリペリとめくっていただくだけで直接おにぎりに手を触れずに食べることができるということから、新型コロナウイルスが感染拡大した時から町内会の町内会長さんが手を触れないで食べたいということでおにぎりを選ばれるということがすごく多くなりました。この三角形の角度を考えるのにメーカーは4年かかったそうです。

東日本大震災が起きた11年前と大きく違うのは、新型コロナウイルス感染拡大が非常に大きいことです。これによって行政も「避難所に必ず避難してください」というよりも「在宅避難できる方はぜひ在宅避難を選択してください」というような言い回しに変化してきたということもございます。ただ、誰でも在宅避難を選べるわけ

ではなく、やはりライフラインが十分なことやしっかりと備えがあること、これが前提になっております。

災害時と食欲のお話です。実は私たちの食欲は、災害時には3段階に分かれています。皆さんご想像ください。今が平日の11時半で、震度5強の地震が発生し、ライフラインが現時点では全滅で、東日本大震災の時もそうでしたが、なかなかご家族と連絡が取れない状況にあります。このような時、我々の食欲というのはどうなるのでしょうか。不思議とおなかのすかなくなってきました。なぜなら、すごくショック状態だからです。しかしながら、数時間から数日後、少し状況が変わってきます。皆さんご家族と連絡も取れましたし、おうちも無事でした。でもスーパーやコンビニにほとんど商品がありません。おなかはずくんですけれども、食べ物へのこだわりがないというのがこの数時間から数日後になります。では1週間後、食欲はどうなるのでしょうか。食欲は普通に戻ってきます。温かいものが食べたい、いつも食べているものが食べたい。おうちできれいに盛り付けされているご飯が食べたいという気持ちがわいてきます。

しかしながら、あることをしておけば解決もいたします。本当にいつも食べておいしいと思う非常食を備えておけばいいということです。先日、市村様の地域防災庫の時にはすべてご試食いただきまして、本当においしいものを備えるということがこれからの防災のトレンドにもなってくると思っております。多くの方々が災害直後や3日後、数日後のことを考えて非常食を備えているのですが、それも大正解でございます。しかし東日本大震災のような避難生活や不自由な生活が長期化する場合は、先ほどのおいしい非常食を備えているかどうか、普段食べ慣れているかどうかでだいぶ心の持ちようが変わってくるということが、これは東日本大震災を経験したからこそわかってきたことです。

カツカレー食べたい、ケーキが食べたい。こういう声非常にあふれてきました。そこでこれから私がこの防災ボックスというものを企画・開発したのが2年前となるのですが、そのお声を集めて、SNSを通してさまざまな全国の皆さんのお声を集めました。

食物アレルギーについてです。小学校で講座をすると、100人中8名ほどはアレルギーを持っています。出会った中で一番びっくりしたのは、白米アレルギーのお子さんでした。また、わかめおにぎりのわかめの匂いを嗅ぐだけで白目になって泡を吹いて倒れるというお子さんもいらっしゃいました。

避難所でアレルギー対応食が我が子に分配されるのが心配だ、という母親からの声がありましたので、山形市に問い合わせましたが、やはりまだすべての非常食がアレルギー対応になっているとは言えないということで、これから徐々に増やしていくということでした。また、アレルギーが命を脅かすものになることも知ってほしいというお声も非常にありました。

災害時と甘いものです。こちらは甘い非常食だけをまとめた「こころ咲くBOUSAI BOX」というものなんです。避難所でこのボックスを開けた時に、汚い段ボールや泥まみれの中でも心に少し花が咲いてほしいなという思いを込めてこのような名前を付けました。

甘いものに関してSNSで私は問いかけました。東日本大震災の時に皆さん甘いもの食べていましたか、という答えがこちらです。ある男性の方、いつもお酒を飲んでいて甘いものは一切食べないのだけれども、シュークリームがどうしても食べたくて1週間シュークリームのことを考え続けたという方。また、これも50代男性の方です。食欲がなくなってなぜか麺すら飲み込むことが精一杯だった。だからゼリーとか欲しくなりましたというもの。また、ストレスが溜まっていたのか無性に甘いものを食べたくなくなったし、避難所で子どもが泣いて泣いて仕方なかったそうです。いろんな大人で抱きしめたんですけども、どうしても泣き止むことができず、その子を笑顔にできたのはスタッフの方が持ってきてくださったりんごジュースとビスコ1つだったそうです。また、仙台市内を歩いていたら焼きたてのパンの香りに涙が出そうになったというか、膝から崩れ落ちるぐらいにパンの香りで涙腺が崩壊してしまったという男性のお答えもございました。

このように、やっぱりいつも甘いものというのは疲れた時や何かちょっとほっとした時に食べたいものではございますが、心への栄養補給になるということがこのSNSを通して、全国各地の皆さんのお声を通して明らかになりました。

また、野菜、皆さん普段食べられていらっしゃるのでしょうか。日本人は常に野菜不足と言われていますが、野菜に関するエピソードも出てきました。女性の方です。まったく野菜にありつけることができず、口内炎がたくさん出た。野菜があってもそもそも料理ができなかった。野菜たっぷりの汁物が食べたかった。それと、子どもにカップラーメンのスープを飲ませることに罪悪感があった、というお母さんが多かったです。温かいものを飲ませたいけれども、添加物と塩分たっぷりのスープを私は子どもに飲ませてしまうんだという罪悪感が消えなかったというお声もありました。また、炭水化物はあるけれども野菜の非常食ってそもそもあるの？というお声も非常にありました。そこで、今年の3月にはこのように野菜だけを詰めた非常食セットを販売したわけですが、こちら、私がびっくりするのは、新型コロナウイルスによって自宅療養になった方、またオミクロン株は喉のほうに痛みが強いということで、飲み込むことが大変というご高齢者のご家庭のほうにたくさん送る機会がありました。

このようにさまざまな商品を発売していくにあたり、防災という活動がいろんなところで広がっていることも感じております。実は9月から山形大学の生協、小白川キャンパス、米沢キャンパスのほうで非常食を販売しております。実は大学生からお声掛けがありまして、私たち防災にまったく興味がないんですが、熱を出したり体調が悪い時に親に「来て」と言えなくなった世の中になってしまいましたと。その時に自分1人でどうにかするにはどうしたらいいんですかというお声から、このよ

うに学生が学生のために広げていくブースを作っています。

また、こちらは9月18日に開催させていただきました全国初の「非常食アレンジレシピコンテスト」になります。これも大学生のほうから非常食をもっと楽しく広めていきたいんですが、アレンジレシピとかどうですかというお声掛けがありました。何かコンテストをできませんか、という時に、メコムさんのグループ会社の株式会社セントさんというところにオンラインでご協力をいただいたりとか、カゴメさんのご協賛を得たりなどして、さまざまな企業が学生が防災を広めたいという思いを形にすることができました。テーマは「ENJOY BOUSAI」で、非常食をいつもごはんに、野菜1日これ1本という長期保存のジュースを使ってアルファ米などの非常食と組み合わせてオリジナルのレシピを作成するというコンテストでした。

大阪、山形、宮城の大学や高校さんから応募が77レシピございまして、14レシピが決勝に進みました。そこで大賞を取ったのが、山辺高校の「じゃがいもの冷製スープ 野菜ピューレを添えて」というものでした。高校1年生の男の子が防災用品である非常食のジュースをどうやっておいしく「いつも」に溶け込ませることができるとということで頭を悩ませました。また、カゴメ賞は、甘いものは心を救うということを知ったので、どうにかして甘いものと野菜を同時に摂れるレシピはないのかなということで、ヨーグルトムースという作品を作りました。また、ユニーク賞としては、宮城学院女子大学の生徒さんたちがお肉を使わない大豆ミートで野菜たっぷりキーマカレーというものを作りました。

よく「防災」という言葉を聞くんですけども、実は私はこの漢字で「防災」という表現をするのがあまり得意ではなく、小学校や高校を回る時には、防災というと少しおどろおどろしい、少し危険な印象を持たれてしまうので、必ず「ENJOY BOUSAI」、ローマ字かひらがなで表記をするようにしています。小学校4年生から防災に対する勉強が始まりますが、何か起きた時点で防災はまったくできなくなります。避難という形になります。ですから、今何も起きていないからこそ防災はできるんだよねといういろいろお話をしています。

また、我々もですが、楽しくないと続かない、楽しいからこそ続けていくためにも、防災を楽しむことが非常に大事だと思っています。この「ENJOY BOUSAI」というテーマを掲げた時に、やはりさまざまな、「それは違うんじゃないの？」というご意見をたくさんいただきました。防災にエンジョイを組み合わせるなんて、西谷さん、すごく不謹慎じゃないか。そういうお声もありましたが、やっぱり楽しくないと続かないので、東日本大震災から11年経ったこれからは楽しく防災に取り組んでいきたいなという思いをこれからも山形から全国にどんどん発信していきたいなと思います。

本日出席 (9 / 26)	会員総数	出席会員数
	99名	68名 (Zoom参加7名含む)